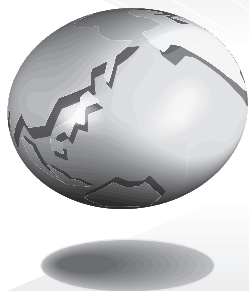


国際研究集会派遣報告



2023 年度 国際研究集会派遣会員報告書

ECR2024 参加報告

派遣集会：European Congress of Radiology 2024 (ECR 2024)

開催場所：Vienna, Austria

開催期間：February 28–March 3, 2024

派遣員 千葉陽子 東北大学病院

はじめに

このたび、2024年2月28日～3月3日にオーストリアのウィーンで開催された、欧州放射線学会 (European Congress of Radiology 2024: ECR 2024) に、国際研究集会派遣員として参加する機会を得たので報告する。

研究発表内容

私は、「Comparative study of Contrast Detail curves obtained from old and new phantoms」というタイトルで、electric presentation online system (EPOS) による電子ポスター発表を行った。デジタルマンモグラフィシステムの画質評価用ファントムとして、アナログおよびデジタルシステムを評価するために開発された CDMAM3.4 (旧ファントム) と、デジタルシステムに特化した CDMAM4.0 (新ファントム) がある。本研究では、これらのファントム解析で得られる contrast detail curves (CD curves) を、FFDM (2D) と digital breast tomosynthesis (DBT) で比較検討した。その結果は、2D でも DBT においても、どちらのファントムも同様な検出率を示しており、同様なカーブの形状を示した。ヨーロッパのガイドラインでは、CD curves を、2D の閾値である acceptable value で管理している。しかし、2D と DBT ともに新旧ファントムの CD curves は、acceptable value を満たす値を示しており、どちらも同様な品質管理ツールとして使用できることが示唆された。このことから、旧ファントムから新ファントムに変更しても、継続的に品質管理が行うことができる、という内容である。



Photo ECR 会場オブジェ前にて

ECR2024 に参加して

ECR2024 は、127 カ国から 18861 人が参加し、日本からは 172 人の参加者であったそうだ。現地では各国の人がたくさん参加しており、規模の違いを感じさせ

られた。特に、機器展示のエリアが4フロアという非常に広いエリアに驚かされ、世界の最新装置や、日本では見ることができないメーカーのさまざまな種類の装置を見ることができた。演題発表では、演者がジェスチャーをまじえて話したり、結果だけをメインとした発表だったりとさまざまであったが、とても勉強になるものであった。また、発表後には日本同様に拍手があり、とても演者に敬意を感じさせるものであった。

謝 辞

ECR2024 への参加にあたり、国際研究集会派遣会員として助成いただきました、日本放射線技術学会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。また、国際学会への出席を快く承諾して下さった、東北大学病院の皆様に深く感謝いたします。なお、助成金は渡航費用として使用しました。